

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	16-110	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名（原題／訳）</b>		
Relation of Heavy Alcohol Consumption to QTc Interval Prolongation. 多量飲酒の QTc 延長との関連		
<b>執筆者</b>		
Li Z, Guo X, Liu Y, Sun G, Sun Y, Guan Y, Zhu G, Abraham MR.		
<b>掲載誌</b>		
Am J Cardiol. 2016 Oct 15;118(8):1201-1206. doi: 10.1016/j.amjcard.2016.07.033. Epub 2016 Jul 29.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒、QTc、不整脈		27561189
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 現在に至るまで、飲酒者の QT 間隔について調べた研究は殆ど無い。筆者らは一般集団における飲酒と QTc 間隔の関連を評価した。</p> <p><b>方法：</b> 35 歳以上の代表的な抽出集団を集めるため、多段階クラスターサンプリングを行い、計 11,269 人の成人について検討した。参加者には飲酒情報の提供を依頼し、全ての参加者が心電図・心エコー検査を受けた。QTc 延長は国のガイドラインに基づき、女性 460ms 以上、男性 450ms 以上とした。被検者は飲酒量により多量(女性&gt;15g/日、男性&gt;30g/日)、中等量(女性≤15g/日、男性≤30g/日)、非飲酒(0g/日)の 3 群に分けられた。</p> <p><b>結果：</b> 多量飲酒者は非飲酒者に比べ QTc が延長していた。多変量ロジスティック解析では多量飲酒者は非飲酒者に比べ、QTc 延長のオッズが男性で 1.4 倍(OR: 1.431, 95%CI: 1.033~1.982, p=0.031)、女性で 2.3 倍(OR: 2.344, 95%CI: 1.202~4.571, p=0.012)高かった。男女とも中等量飲酒者では、非飲酒者に比べて QTc 延長リスクの有意な延長を認めなかった。</p> <p><b>結論：</b> 多量飲酒は QTc 延長の危険因子であった。</p>		